

図書館だより

5月号

曾於市立図書館
開館時間 午前9時～午後6時
休館日 毎週月曜日・第3水曜日
本館 (末吉) ☎ 0986-28-8051
大隅分館 ☎ 099-482-2410
財部分館 ☎ 0986-72-0946

新しい本が届いています

末吉



『書いて、捨てる!』
筆子

大人気ブロガーによる、書くことで、「モノ」と「コト」をスッキリさせる本。ゆるいルールで始めませんか？

『下腹だけ、凹ませる』 岡部 正
『おっちょこ魔女先生』 廣嶋 玲子



大隅



『発注いただきました!』
朝井 リョウ

デビュー十周年をむかえた朝井リョウ。有名企業の様々な原稿発注に応じてきた著者のある意味集大成作品!

『ちょきんぱこのたびやすみ』 村上 いこ



『うさぎがいっぱい』
リチャード・スキャリー



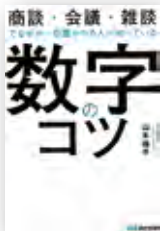
財部



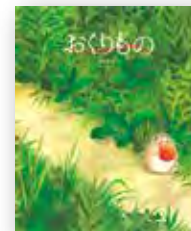
『遥かな巨大仏』
半田 カメラ

大仏に恋した女性カメラマンが巨大仏と巨大建造物を集めた一冊。知ると観てみたくなる旅のすすめ西日本編!

『「数字」のコツ』
山本 峻平



『おくりもの』
豊福 まきこ



この本の主人公小林真は、生よりも死のほうが魅力的に感じられた。だから死んだ。はずだったが生きるチャンスが与えられます。小林真は天使と共にカラフルな世界へ新たな一歩を踏みだします。

逃げ出したくなるようなことがみなさんもあると思います。でも天使は「あなたはあの世界にいない人ではない。待っている人がある」と言います。目がくらむほどカラフルなこの世界だけで頑張る生きようと思える本です。



私の推薦

『カラフル』 森絵都

曾於高校3年
永山凜さん推薦

今月のイベント

新型コロナウイルス感染症の国内での発生状況を踏まえ、感染の拡大を防止するため、5月中に開催する全てのイベントを中止します。利用者の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解の上、ご了承くださいませよう、お願いいたします。

※6月1日(月)以降のイベントについても感染拡大の状況によっては、中止する場合があります。

お知らせ

5月1日～6日は新型コロナウイルスの影響で休館となっています。

うたごよみ

曾於文藝

俳句

末吉俳句会

白木蓮空の碧さをほしいまま

下大田 正子

水白く落ちてゆきけり水草生ふ

瀬戸内 紀子

足裏のでこぼこに慣れあをきふむ

西村 セツ

大陽俳句会

音のみの響く土俵や三月場所

岩重 みどり

簾分けて巡る史跡や落椿

福村 よう子

黄水仙並び咲きたる香りかな

逆瀬川 節子

短歌

末吉短歌会

からすなけからすなけなけ喪に伏する
吾の全霊覆いつくして

森岡 ちどり

題字

末吉文化協会会員 瀬戸口 淳氏氏

窓際に深き色なるおきな草

朝の厨の空気は澄める

幾たびも目覚めて闇を見つめをり
我亡きあとの詮なきことを

長倉 佳津子
宝蔵 弘二

大陽短歌会

新しき令和時代の春先を

新型「コロナ」行手をはばむ

安藤 フヂ子

古稀を過ぎ来し方とくと省りみる
鳶に鷹は産めざるを知る

西山 美代子

郵便受けに朝刊コトリと音がして
川面が見えるもう朝ですか

川辺 玉枝

財部短歌会

妻ゆゑにせめて夢でも逢ひたしを
しみじみ遠きに笑まふ初夢

井上 澄子

ほんのりと春のかほりを漂はせ
ひそと開花す梅も椿も

杉村 リカ

拉致ゆえに娘にも逢えず母は逝く
わらにもすがる思ひ集めて

児玉 次雄

薩摩狂句

にがごい会末吉支部

ドレミファち 頭打たれた

遠か夢 古川 一幹

選挙出馬ち 頭を下げつ

手を握手 浜田 一好

敬老会 帽子とつ礼で

頭あ光つ 桐野 奈世

悪事坊 頭下げ方

足でけつ 鈴木 一泉

大陽薩摩狂句会

命懸け 医者が井戸ぬ

砂漠き掘つ 津留 郡志

ウイルスが 世界の動く

ひつ止めつ 小倉 りんりん

人ん中け 行つも気を使つ

コロナ騒動 西山 美代子

花見どま 止んち喜くだ

下戸ん爺 境 すやすや

ニューハーフ 金ぬ使こひこ

化粧も上手 福元 多喜子